

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	山形地域福祉事業所 陽だまりクラブ		
○保護者評価実施期間	令和8年1月28日		～ 令和8年2月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31名	(回答者数) 18名
○従業者評価実施期間	令和8年1月28日		～ 令和8年2月3日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12名	(回答者数) 12名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月24日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	地域の方と積極的に交流を図っている。子どもたちの体験、経験の場を増やしている。	施設内で行っている地域食堂、お惣菜販売は、地域の方が積極的に入り、主体となって活動を行っている。ハロウィン、スタンプラリー、夏祭り、昼食作りの際には、地域の方に呼びかけ、継続的に交流を図っている。	継続的に交流を図っていく。発信していき、事業所の活動に共感してくださる方を募っていく。
2	外部講師をお呼びし、支援に生かしている。	陽だまりの中だけで完結するのではなく、外部の目もいれ、様々な視点から、子どもたちにとって良い環境作っている。	必要に応じて、違う業種の講師にも入っていただく。
3	子どもの権利、子どもをまんなかにした支援を行っている。	日々のプログラムも子ども達の意見を取り入れながら考えている。権利擁護の研修に参加し、学びを現場に生かしている。事業計画なども、子どもたちを中心において考え、現場の支援に生かしている。	引き続き研修などに参加し職員の理解を深めていく。選択肢を増やししながら、子どもたちが安心して過ごせる環境を目指していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	施設が老朽化しているが、改修が難しい。	資金面に問題がある。	優先順位を決めて環境を整えていく。
2	保護者交流会は実施しているが、父母の会がない。	保護者からの要望が今のところがない。	要望に応じて、保護者の方と一緒に父母の会の準備を進めていく。
3	地域の同世代の子どもたちの交流がほとんどない。	発信できていない。事業所の役割や交流の必要性が理解されていない。	放課後等サービスの事業や、交流の必要性について事業所とし発信をしていき理解を促していく。子どもたちの特性に応じて交流を図っていく。